

この資料は一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行行動規範」に則って作成されています。

文章を正確に読み解き、深く読み味わうための「技」や「こつ」を3年間で22種類示しました。応用したり組み合わせたりしながら、さまざまな場面で活用しましょう。

| 学年 | 読み方 | 教科書で取り上げた教材 | こんなときに使える (一例) |
|----|------------|-------------------|---------------------------------|
| 1年 | 1 説明文の基本構造 | クジラの飲み水 | 説明的文章を読むとき |
| | 2 人物相関図 | 空中ブランコ乗りのキキ | 物語や小説を読むとき |
| | 3 行動描写 | 字のない葉書 | 物語や小説、随筆、随想を読むとき |
| | 4 三角ロジック | 一〇〇〇円の価値を考える | 説明的文章を読むとき |
| | 5 詩の表現技法 | それだけでいい | 詩、短歌・俳句、物語や小説を読むとき |
| | 6 情景描写 | トロッコ | 物語や小説、詩、随筆を読むとき |
| | 7 要約 | 意味と意図 | 説明的文章を読むとき 話し合いで意見を整理するとき |
| | 8 語り手・視点 | 少年の日の思い出 | 物語や小説を読むとき |
| 2年 | 1 人物設定 | セミロングホームルーム | 物語や小説を読むとき |
| | 2 説明文の論理展開 | 人間は他の星に住むことができるのか | 説明的文章を読むとき |
| | 3 想像 | 短歌の世界／短歌十首 | 短歌・俳句、詩、物語や小説、随筆、随想を読むとき |
| | 4 図表と文章 | 味は味覚だけでは決まらない | 説明的文章を読むとき 理科や社会科などの資料を読むとき |
| | 5 物語の転換点 | 平家物語 | 物語や小説を読むとき |
| | 6 象徴 | 小さな手袋 | 物語や小説、詩、短歌・俳句を読むとき |
| | 7 例示 | 動物園でできること | 説明的文章を読むとき 発表をしたり文章を書いたりするとき |
| | 8 心情把握 | 走れメロス | 物語や小説を読むとき |
| 3年 | 1 回想 | 握手 | 物語や小説、随筆、随想を読むとき |
| | 2 批判的な読み | 間の文化 | 説明的文章を読むとき |
| | 3 省略 | 俳句の世界／俳句十句 | 短歌・俳句、詩、物語や小説を読むとき |
| | 4 具体と抽象 | フロン規制の物語 | 説明的文章を読むとき 発表をしたり文章を書いたりするとき |
| | 5 状況・背景 | おくのほそ道 | 物語や小説、詩、随筆、随想、短歌・俳句を読むとき |
| | 6 反復 | 故郷 | 物語や小説、詩、短歌・俳句を読むとき |

1年 読み方を学ぼう 1

「ペンギンの防衛戦」における説明文の基礎構造の例

例 クジラの飲み水

基本構造を捉えたと、説明の道筋や要点がよくわかる。

● 説明的文章を読むとき

1年 読み方を学ぼう 3

「字のない葉書」における行動描写の例

例 字のない葉書

行動描写に着目して読むと、小説や随筆の登場人物の心情がより深く捉えられる。

● 物語や小説、随筆、随想を読むとき

1年 読み方を学ぼう 5

「それだけでいい」における詩の表現技法の例

例 それだけでいい

表現技法に着目して詩を読むと、読者の心を揺さぶる仕掛けが理解できる。

● 詩、短歌、俳句、物語や小説を読むとき

1年 読み方を学ぼう 7

「意味と意図」における要約の例

例 意味と意図

要約する力をつけると、文章や話の中心的な内容がつかめる。

● 説明的文章を読むとき、話し合いで意見を整理するとき

1年 読み方を学ぼう 2

「空中ブランコ乗りのキキ」における人物相関図の例

例 空中ブランコ乗りのキキ

人物相関図を作ると、物語の全体像や展開のしくみがよくわかる。

● 物語や小説を読むとき

1年 読み方を学ぼう 4

「一〇〇〇円の価値を考える」における三角ロジックの例

例 一〇〇〇円の価値を考える

主張と事実と理由づけの三つを区別することで、論理的に文章を読み解くことができる。

● 説明的文章を読むとき

1年 読み方を学ぼう 6

「トロッコ」における情景描写の例

例 トロッコ

情景描写を読み解くと、直接書かれていない心情がより深く捉えられる。

● 物語や小説、詩、随筆を読むとき

1年 読み方を学ぼう 8

「少年の日の思い出」における語り手・視点の例

例 語り手・視点

語り手と視点に着目して読むと、作品の仕掛けがより深く理解できる。

● 物語や小説を読むとき

2年 読み方を学ぼう 1

「セミロングホームルーム」における人物設定の例

例 セミロングホームルーム

人物設定の仕方を捉えると、小説の内容とストーリー展開の仕掛けをより深く理解できる。

● 物語や小説を読むとき

2年 読み方を学ぼう 2

「宇宙に行くための素材」における説明文の論理展開の例

例 人間は他の星に住むことができるのか

説明文の論理展開を捉えることで、筆者の説明の道筋や表現の工夫がわかる。

● 説明的文章を読むとき

2年 読み方を学ぼう 3

「短歌の世界」における物語の想像の例

例 短歌の世界

想像する力を鍛えると、詩・短歌・俳句や小説が、より鮮やかに読み味わる。

● 短歌・俳句、詩、物語や小説、随筆、随想を読むとき

2年 読み方を学ぼう 4

「味は味覚だけでは決まらない」における図表と文章の例

例 味は味覚だけでは決まらない

文章と図表の対応を確かめることで、筆者の考えや考えのもととなる事実を的確に理解することができるといえる。

● 説明的文章を読むとき、理科や社会科などの資料を読むとき

2年 読み方を学ぼう 5

●「敬虔の嵐期」における物語の転換点の例

● 敬虔の嵐期における物語の転換点の例

例 平家物語

▼物語の転換点に気がつけて読むと、物語の展開の巧みさとその効果が理解できる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説を読むとき

2年 読み方を学ぼう 7

●「動物園でできること」における例示の例

●「動物園でできること」における例示の例

例示

動物園でできること

例示の効果を意識して具体例を読むと、筆者の主張を的確に把握することができる。

●「こんなときに使える」

●説明的文章を読むとき、発表をしたり文章を書いたりするとき

2年 読み方を学ぼう 6

●「小さな手袋」における象徴の例

●「小さな手袋」における象徴の例

例 小さな手袋

▼象徴のはたらきに気づくと、直接書かれていない思いや価値を読み解くことができる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説、詩、短歌・俳句を読むとき

2年 読み方を学ぼう 8

●「あれれモロス」における心情把握の例

●「あれれモロス」における心情把握の例

例 あれれモロス

▼場面の展開に即した心情の把握が、物語の全体像と表現の効果の理解につながる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説を読むとき

3年 読み方を学ぼう 1

●「握手」における回想の例

●「握手」における回想の例

回想

例 握手

▼回想に注意してできるとの順序を整理すると、作品の構造と展開が明確につかめる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説、随筆、随想を読むとき

3年 読み方を学ぼう 2

●「批判的に読む」とは」における批判的な読みの例

●「批判的に読む」とは」における批判的な読みの例

批判的な読み

例 間の文化

▼批判的に読むと、筆者の論理の展開や表現の工夫を捉えたり、自分の考えをつくりたりすることができる。

●「こんなときに使える」

●説明的文章を読むとき

3年 読み方を学ぼう 3

●「俳句の世界」における省略の例

●「俳句の世界」における省略の例

省略

例 俳句の世界

▼省略の技法を理解し、想像で余白を補つと、俳句や短歌がより深く読み味わえる。

●「こんなときに使える」

●短歌・俳句、詩、物語や小説を読むとき

3年 読み方を学ぼう 4

●「フロン規制の物語」における具体と抽象の例

●「フロン規制の物語」における具体と抽象の例

具体と抽象

例 フロン規制の物語

▼具体と抽象を意識して読むと、文章の内容をより論理的に理解することができる。

●「こんなときに使える」

●説明的文章を読むとき、発表をしたり文章を書いたりするとき

3年 読み方を学ぼう 5

●「おくのほそ道」における状況・背景の例

●「おくのほそ道」における状況・背景の例

状況・背景

例 おくのほそ道

▼状況や背景をふまえて小説・随筆を読むと、より広く、深い読解が可能になる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説、詩、随筆、随想、短歌・俳句、詩、物語や小説を読むとき

3年 読み方を学ぼう 6

●「坂道」における反復の例

●「坂道」における反復の例

反復

例 反復

▼反復に着目して読むと、作品全体への理解をより深めることができる。

●「こんなときに使える」

●物語や小説、詩、短歌・俳句を読むとき

「読み方を学ぼう」活用のために

「読み方を学ぼう」は、「学びの道しるべ」の課題に関連づけて、その教材に適した読みの方略を示しています。ここでは、授業の中で活用していただく際のポイントを示しました。

例1 人物相関図（1年）「空中ブランコ」乗りのキキ

●人物の配置を示すときの円や四角などの「大きさ・形・色」の工夫は、それぞれの登場人物をどう読んだかに関連する。また、矢印の「向き・太さ・色・線の種類」などは、人物どうしの関係をどう捉えたかを反映する。

●捉えたことを言語化し、矢印などにも言葉（「プレッシャー」「気遣い」「ライバル」など）を加えることで、物語の内容と構造を表現しながら理解を深めていくことができる。

●読解したことを「ひとめで見える形」にすることは、協働的問題解決に有効な方法である。視覚化された具体的な方略を自覚的に用い、その読解効果を他者と交流しながら確かめることで、学習者は「わかる」「使える」という実感を得ながら読解力を高めていくことができる。

他の学習場面で活用できる！

「竹取物語」での活用例

●全ての登場人物を書き出す必要はない。

●登場人物どうしの共通点に着目して、枠で囲ってグループにまとめて整理する。

ポイント

例2 三角ロジック（1年）「1000円の価値を考える」

●「主張」「事実」「理由づけ」の三点に分析することによって、筆者の論理の組み立てを視覚的に整理することができる。

●日常の会話をはじめとする言語活動の実態としては「理由づけが示されない主張」が多い。「理由づけ」が省略される理由の一つには、その認識や価値観が「共通で当たり前」である（と思いつている）ため、わざわざ表に出さないことがあげられる。

●文章においても、「理由づけ」が本文中に必ずしも示されているわけではない。そのため、筆者の「理由づけ（隠れた前提）」を推測しながら顕在化することがポイントになる。

●筆者の論理を分析・整理するだけでなく、自分の考えを組み立てるツールに活用することで、三角ロジックはより有効なものになる。

他の学習場面で活用できる！

書くこと「論説文」での活用例

●主張を支える部分を「事実」と「理由づけ」に分けて考える。

●「事実」は、複数あげて、その中で特に説得力が高まるものを選ぶようにする。

●選んだ事実がどのように主張を支えるかを考えて、理由づけを明確にする。

ポイント